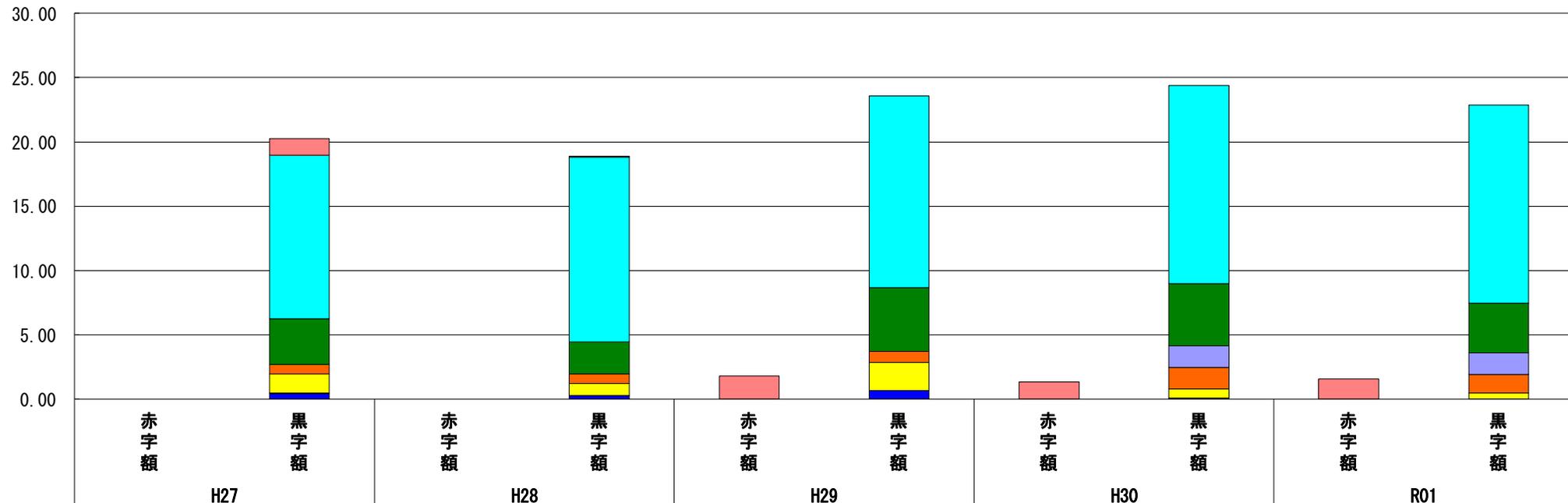


(8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

令和元年度

岡山県笠岡市

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

会計	年度	H27	H28	H29	H30	R01
笠岡市病院事業会計		1.30	0.10	▲ 1.81	▲ 1.36	▲ 1.58
笠岡市水道事業会計		12.72	14.36	14.87	15.43	15.37
一般会計		3.53	2.48	4.93	4.81	3.86
笠岡市下水道事業会計		-	-	-	1.68	1.66
笠岡市介護保険事業特別会計		0.72	0.77	0.87	1.68	1.46
笠岡市国民健康保険事業特別会計		1.52	0.91	2.19	0.70	0.46
笠岡市国民健康保険真鍋島直営診療施設特別会計		0.01	0.00	0.00	0.00	0.01
笠岡市へき地診療施設特別会計		0.01	0.01	0.00	0.01	0.01
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		0.46	0.29	0.68	0.09	0.01

分析欄

令和元年度においては、全体で黒字額は前年度より減少している。この主な要因は一般会計の単年度収支のマイナスが大きくなったこと、介護保険事業特別会計・国民健康保険事業特別会計の減による。

赤字額が発生した要因は、病院事業会計が医業収益は微増となったものの医業外収益の減等により大幅な赤字となり資金不足になったことによる。

※令和2年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。